

2007年12月3日

北海道開発局長 鈴木 英一 様

天塩川魚類生息環境保全に関する専門家会議についての再要望書

私たちの11月12日付けの要望書に対して11月27日付けで、旭川開発建設部と留萌開発建設部連名でご回答いただき、ありがとうございました。ご回答を拝見して、確認したいことおよび新たに要望したいことがありますので、貴職に以下のことについてご説明を願いたいと考えて、要望書を提出しますので、ご回答をお願い致します。

なお、ご回答は、12月20日までに、北海道自然保護協会（〒060-0003 札幌市中央区北3条西11丁目、加森ビル6F、Tel&FAX:011-251-5465）宛に、文書と資料によっていただけますよう、宜しく申し上げます。

1. 専門家会議の設立趣旨は流域委員会の意見を踏まえていると理解しますが、ご確認願います。

このたびのご回答では、“専門家会議は、天塩川流域委員会から頂いた「天塩川水系河川整備計画（原案）に関する意見」（平成18年12月27日）、その他の意見を踏まえて措置したものです。”と述べられています。さらに、具体的に、“天塩川流域委員会から「サンルダムを建設する場合は、遡上のための魚道を整備し、降下対策を図る必要がある。対策の実施にあたっては、その効果を懸念する意見があることから、専門家の意見を聴くとともに、現状の遡上、降下などの河川環境に負荷を与えずに、事前の段階から必要に応じて試験を行い、その対策の効果を確認しながら、サクラマスが生息環境の推移を継続的にモニタリングし、その結果に基づきさらに必要な対策を講ずることができる体制を整備して、取り組むべきである」との意見を頂いております”と記述されています。

一方、11月14日に開催された専門家会議準備会で開発局は、「専門家会議は、サンル川流域においてサクラマスが遡上し、産卵床が広い範囲で確認されているため、サンルダム建設にあたっては魚道を設置し、ダム地点において遡上・降下の機能を確保することにより、サクラマスの生息環境への影響を最小限とするよう取り組む」と述べています。私たちは、この文言を、「ダムを建設後、遡上・降下対策を講じて、その影響を最小限にするようにする」と理解して、先の要望書を提出しました。しかし、今回のご回答を拝見すると、魚道を設置してサクラマスの生息環境への影響を調べることも検討課題のひとつであるが、それ以外にも「現状の遡上、降下などの河川環境に負荷を与えずに、事前の段階から必要に応じて試験を行う」ことを考えていると理解致します。ダム建設後に、サクラマス保全対策が機能しないことが判明しても、ダムを取り壊すということは考えられません。ダム建設後以外にも、ダム建設前にさまざまな文献調査や、その他の試験を行い、検討すると理解しますが、そのように考えてよいのかどうか、ご回答をお願いします。

2. 第1回の専門家会議において流域委員からの説明を求めます。

いただいたご回答には専門家の専門分野についてご説明がありました。この点は理解しました

が、専門家の肩書きについて一言述べさせていただきます。3名の方は、肩書きが元となっています。一般に肩書きに元を用いるのは、定年などで退職された後無職の方です。この3名の方々が無職であれば、元を使用するのは問題ないのですが、現在職についている場合には、誤りです。公費を用いた公開の会議ですので、肩書きに元を使用する時には厳正な対応をお願いします。

11月14日に開催された準備会で、流域委員会における論議を知りたいのでこの専門家会議の委員に選出するよという発言がありました。私たちはこの発言は妥当だと考えます。開発局は、流域委員を専門家会議メンバーには選出しないが、専門委員などの肩書きで専門家会議において発言することとしたいと述べたと私たちは理解しています。そうであれば、まず、第一回の専門家会議において、流域委員会の審議経過を知ることが目的として、サクラマスの専門家である、天塩川流域委員会委員を務めた北海道大学教授前川光司氏が、第一回の専門家会議において説明を行い、専門家会議委員と質疑応答を行うことがもっとも妥当と考えます。ぜひご検討をお願いします。

以上

下川自然を考える会
会長 桑原 友一
サンルダム建設を考える集い
代表 渋谷 静男
名寄サンルダムを考える会
代表 竹内 和郎
サンル川を守る会
代表 橋本泰子
ネットワーク旭川地球村
代表 山城えりこ
北海道の森と川を語る会
代表 小野有五
大雪と石狩の自然を守る会
代表 寺島一男
社団法人 北海道スポーツフィッシング協会
会長 藤本靖
流域の自然を考えるネットワーク
代表 宮崎 司
遊楽部川の自然を守る会
代表 稗田 一俊
北海道自然保護連合
代表 寺島一男
社団法人 北海道自然保護協会
会長 佐藤 謙